

# 文教委員会報告資料

令和3年3月15日

報告事項件名	頁
(教育指導部)	
(1) 図書館を使った調べる学習コンクールの全国審査結果について……………	2
(2) 「令和2年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」報告について……………	3
(3) 足立区ICT教育推進の基本方針の改定について……………	8
(学校運営部)	
(4) 校舎窓ガラスの強化に向けた取り組みについて……………	9
(5) 防火シャッターへの危害防止装置の取り付けについて……………	10
(6) 足立区育英資金緊急対策（新型コロナウイルス感染症関連）の結果報告について……………	11
(7) 多子世帯に対する学校給食費の補助について……………	14
(8) 足立区学校施設の個別計画の策定について……………	15
(9) 令和3年度公益財団法人足立区生涯学習振興公社の事業計画及び収支予算について……………	別添
(子ども家庭部)	
(10)ペアレント・メンター事業委託事業者選定委員会の審査結果について…………	17
(11) 令和3年度のチャレンジ学級の運営方法について……………	20
(12) 特例課程教室あすテップの検証会議の結果について……………	21
(13) 不登校児童のための家庭学習支援事業委託事業者選定委員会の審査結果について……………	24
(14) 不登校支援におけるICT活用実施計画の策定について……………	27

( 教 育 委 員 会 )

文教委員会報告資料

令和3年3月15日

件名	図書館を使った調べる学習コンクールの全国審査結果について																															
所管部課名	教育指導部教育指導課																															
内容	<p><b>1 審査結果</b> ( ) は昨年度実績</p> <p>(1) 入賞</p> <table border="1"> <tr> <td>足立区受賞者数</td> <td>全国受賞者総数</td> </tr> <tr> <td>0 (0)</td> <td>29 (30)</td> </tr> </table> <p>(2) 入選</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>足立区受賞者数</td> <td>全国受賞者総数</td> </tr> <tr> <td>優良賞</td> <td>1 (4)</td> <td>104 (160)</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>4 (8)</td> <td>193 (299)</td> </tr> <tr> <td>佳作</td> <td>179 (119)</td> <td>943 (1,540)</td> </tr> </table> <p>(3) 入選作品一覧 (5作品)</p> <table border="1"> <tr> <td>賞</td> <td>作品名</td> <td>学校</td> </tr> <tr> <td>優良賞</td> <td>人が死なない防災</td> <td>長門小6年</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">奨励賞</td> <td>日本に迫る塩害の危機</td> <td>第七中1年</td> </tr> <tr> <td>単位について</td> <td>第十一中1年</td> </tr> <tr> <td>世界の伝統料理から読み取れることとはどのようなことだろうか?</td> <td>東綾瀬中2年</td> </tr> <tr> <td>ほんとうに恐竜は絶滅した?</td> <td>江南中2年</td> </tr> </table>	足立区受賞者数	全国受賞者総数	0 (0)	29 (30)		足立区受賞者数	全国受賞者総数	優良賞	1 (4)	104 (160)	奨励賞	4 (8)	193 (299)	佳作	179 (119)	943 (1,540)	賞	作品名	学校	優良賞	人が死なない防災	長門小6年	奨励賞	日本に迫る塩害の危機	第七中1年	単位について	第十一中1年	世界の伝統料理から読み取れることとはどのようなことだろうか?	東綾瀬中2年	ほんとうに恐竜は絶滅した?	江南中2年
	足立区受賞者数	全国受賞者総数																														
	0 (0)	29 (30)																														
		足立区受賞者数	全国受賞者総数																													
	優良賞	1 (4)	104 (160)																													
	奨励賞	4 (8)	193 (299)																													
	佳作	179 (119)	943 (1,540)																													
	賞	作品名	学校																													
	優良賞	人が死なない防災	長門小6年																													
	奨励賞	日本に迫る塩害の危機	第七中1年																													
単位について		第十一中1年																														
世界の伝統料理から読み取れることとはどのようなことだろうか?		東綾瀬中2年																														
ほんとうに恐竜は絶滅した?		江南中2年																														
<p><b>2 参考</b> ( ) は昨年度実績</p> <p>(1) 今年度の足立区立小中学校の応募状況</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td colspan="3">小学校</td> <td rowspan="2">中学校</td> <td rowspan="2">合計</td> </tr> <tr> <td>低学年</td> <td>中学年</td> <td>高学年</td> </tr> <tr> <td>応募総数</td> <td>1,029 (713)</td> <td>2,492 (1,414)</td> <td>2,935 (2,286)</td> <td>2,699 (2,189)</td> <td>9,155 (6,602)</td> </tr> <tr> <td>足立区入選 (全国へ出品)</td> <td>21 (18)</td> <td>50 (25)</td> <td>59 (50)</td> <td>54 (38)</td> <td>184 (131)</td> </tr> </table> <p>(2) 団体受賞                  足立区教育委員会が「図書館を使った調べる学習活動賞（地域コンクール主催者表彰）」を受賞                  ※ 団体受賞                  総務大臣賞 1団体（千葉県TRC八千代中央図書館）                  図書館を使った調べる学習活動賞 2団体                  （足立区教育委員会、福岡県飯塚市立図書館）</p>		小学校			中学校	合計	低学年	中学年	高学年	応募総数	1,029 (713)	2,492 (1,414)	2,935 (2,286)	2,699 (2,189)	9,155 (6,602)	足立区入選 (全国へ出品)	21 (18)	50 (25)	59 (50)	54 (38)	184 (131)											
		小学校					中学校	合計																								
	低学年	中学年	高学年																													
応募総数	1,029 (713)	2,492 (1,414)	2,935 (2,286)	2,699 (2,189)	9,155 (6,602)																											
足立区入選 (全国へ出品)	21 (18)	50 (25)	59 (50)	54 (38)	184 (131)																											
問題点 今後の方針	区小中研や区立図書館等との連携をさらに深め、よい作品を周知するとともに教員の指導力向上に努め、作品の質の向上を図る。																															

文教委員会報告資料

令和3年3月15日

件名	「令和2年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」報告について									
所管部課名	教育指導部教育指導課									
内容	<p>令和2年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケートの集計結果について、概要を以下のとおり報告する。詳細はP5～7のとおり。</p> <p><b>1 アンケート実施日</b> 令和2年11月2日～11月30日において各学校が定めた日</p> <p><b>2 アンケート対象期間</b> 令和2年8月～アンケート実施日</p> <p><b>3 対象児童・生徒</b></p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>調査回答数</td> <td>小学校</td> <td>30,860名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校</td> <td>13,026名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>43,886名</td> </tr> </table> <p><b>4 アンケート実施方法</b> 児童・生徒が家庭にアンケート用紙を持ち帰り記入した後、専用の封筒で学校に提出する。</p> <p><b>5 結果概要（主要項目の前年度11月との比較）</b> 全体についてはP7のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「相談できる人がいる」 98.6%（-0.4ポイント）</li> <li>・「冷やかし、からかい、悪口を言われた」 2,857件（-896件）</li> <li>・「今、いじめられている」 309件（-188件）</li> <li>・未提出数 497件（+19件）</li> </ul> <p><b>6 アンケート結果の分析</b></p> <p>(1) 第1回、第2回のアンケートともに、新型コロナウイルス感染症に関連したいじめの回答はない。</p> <p>(2) 前年度同月との比較では、いじめの件数が減少しているが、学級指導や道徳科、校長講話等において、偏見、差別を生まないための指導の成果であると考ええる。</p> <p>(3) 未提出数の増加は、コロナ不安や帰国困難による長期欠席者の増加が理由であると考ええる。</p>	調査回答数	小学校	30,860名		中学校	13,026名		計	43,886名
調査回答数	小学校	30,860名								
	中学校	13,026名								
	計	43,886名								

	<p><b>7 足立区いじめ等問題対策委員会での意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート結果を毎回見ているが「相談できる人がいる」の割合がいつも非常に高いので感心している。いじめに特化したアンケートではあるが、相談相手がいるということはいじめ以外の問題が起きてても相談できる状態であるといえる。</li> <li>・ この時期に足立区の何校かと直接関わっていたが、アンケート結果と同様に新型コロナウイルス感染症に関連したいじめは見受けられなかった。</li> <li>・ 教師がどこまでが体罰であるのかを分かっていないように感じるのでしっかりと共通認識をもち、自分の感情をコントロールする技術を身に付ける必要がある。</li> </ul>
<p>問 題 点 今 後 の 方 針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめはどの学校でもどの子どもにも起こり得るという教職員の認識をより一層深め、細心の注意を払いながら、今後もいじめ問題に取り組んでいく。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別を生まない指導を継続して行っていく。</li> </ul>

## 令和2年度いじめに関するアンケート調査結果（第2回：R02.11月）

基礎情報	小学校			中学校			合計		
	R01.11月	R02.7月	R02.11月	R01.11月	R02.7月	R02.11月	R01.11月	R02.7月	R02.11月
在籍数	31,304人	31,156人	<b>31,022人</b>	13,294人	13,396人	<b>13,361人</b>	44,598人	44,552人	<b>44,383人</b>
調査回答数	31,174人	31,040人	<b>30,860人</b>	12,946人	13,181人	<b>13,026人</b>	44,120人	44,221人	<b>43,886人</b>
回答率	99.6%	99.6%	<b>99.5%</b>	97.4%	98.4%	<b>97.5%</b>	98.9%	99.3%	<b>98.9%</b>
未回収数	130	116	<b>162</b>	348	215	<b>335</b>	478	331	<b>497</b>
前回未回収数	92	167	<b>116</b>	220	386	<b>215</b>	312	553	<b>331</b>

### 結果（回答件数）

調査項目	小学校			中学校			合計			
	R01.11月	R02.7月	R02.11月	R01.11月	R02.7月	R02.11月	R01.11月	R02.7月	R02.11月	
1 相談できる人がいる	99.3%	99.1%	<b>98.8%</b>	98.4%	98.2%	<b>98.2%</b>	99.0%	98.8%	<b>98.6%</b>	
内訳 ※複数回答	家の人	91.1%	92.3%	<b>91.2%</b>	79.2%	83.0%	<b>81.5%</b>	87.6%	89.5%	<b>88.3%</b>
	先生	63.3%	63.8%	<b>63.6%</b>	49.3%	52.7%	<b>51.7%</b>	59.2%	60.4%	<b>60.1%</b>
	友人	57.3%	52.8%	<b>58.7%</b>	76.6%	77.2%	<b>77.7%</b>	62.9%	60.1%	<b>64.3%</b>
	S C	13.5%	11.1%	<b>12.8%</b>	19.5%	20.3%	<b>20.0%</b>	15.3%	13.8%	<b>15.0%</b>
	その他	4.3%	3.7%	<b>4.1%</b>	3.8%	2.2%	<b>2.2%</b>	4.1%	3.3%	<b>3.5%</b>
<p>●上記の「家の人」は、兄弟・祖父母・いとこや親類等同居の場合も含む。                  ●「その他」で記載された人物等の傾向について                  習い事の先生、げんきの相談員、友達の家族、近隣の大人、医者（臨床心理士・精神科医）、デイサービス職員、シッター、兄相の人、学童等の先生（教員以外の学校に関わる大人）、教会、警察、ネット上の友達、いじめ相談（ネット、電話）、ペット、人形・ぬいぐるみ                  ※小学校のみ：区議会議員、裁判所職員、Siri                  ※中学校のみ：登校サポーター</p>										
2 冷やかしの、からかい、悪口を言われた	11.2% (3,477)	3.6% (1,130)	<b>8.7% (2,687)</b>	2.1% (276)	0.4% (56)	<b>1.3% (170)</b>	8.5% (3,753)	2.7% (1,186)	<b>6.5% (2,857)</b>	
3 仲間はずれ、無視	4.8% (1,490)	1.7% (528)	<b>3.5% (1,074)</b>	0.6% (78)	0.1% (19)	<b>0.4% (49)</b>	3.6% (1,568)	1.2% (547)	<b>2.6% (1,123)</b>	
4 軽くぶつかる、叩かれる、蹴られる	3.2% (993)	1.1% (342)	<b>2.5% (767)</b>	0.9% (122)	0.1%未満 (12)	<b>0.6% (74)</b>	2.5% (1,115)	0.8% (354)	<b>1.9% (841)</b>	
5 ひどく叩かれる、蹴られる	2.3% (721)	0.6% (201)	<b>1.7% (538)</b>	0.4% (51)	0.1%未満 (2)	<b>0.2% (23)</b>	1.7% (772)	0.5% (203)	<b>1.3% (561)</b>	
<p>主な内容例                  ・落ち着かない子がおり、衝動的に叩かれる。・体育の学習や外遊びの時にいきなりボールを当てられた。                  ・口げんかの後に叩き合いになった。・ふざけ合っているうちに叩かれた。                  ※小学校のみ：フラフープ、鍵盤ハーモニカ、バッグで叩かれる。・同じクラスの子に「牛脂」と言われ叩かれ、それに便乗した他の子に悪口を言われた。・鬼ごっこの際にタッチした後、叩かれた。・ケンカを止めたら叩かれた。                  ※中学校のみ：部活動内で悪口を言われ、言わなかったら叩かれる。</p>										
6 お金を取られる、隠される	0.1%未満 (26)	0.1%未満 (4)	<b>0.1%未満 (17)</b>	0.1%未満 (1)	0.1%未満 (0)	<b>0.1%未満 (0)</b>	0.1%未満 (27)	0.1%未満 (4)	<b>0.1%未満 (17)</b>	
<p>主な内容例                  ※小学校の例：・塾で財布を落とし友達が拾ってくれた時に、一部を持っていかれた。・野良猫に餌を買ってと言われ買わされた。・コンビニで友達にチョコを買わされた。・自宅で友達に財布をランドセルの中に隠された。・お金を貸したのに返ってこない。・友達に10円を取られた。・家の人に取られた。</p>										

調査項目	小学校			中学校			合計			
	R01.11月	R02.7月	R02.11月	R01.11月	R02.7月	R02.11月	R01.11月	R02.7月	R02.11月	
7	物をとられる、隠される	2.8% (884)	0.6% (199)	<b>2.2%</b> <b>(685)</b>	0.8% (102)	0.1% (19)	<b>0.3%</b> <b>(38)</b>	2.2% (986)	0.5% (218)	<b>1.6%</b> <b>(723)</b>
8	嫌なことをされる、させられる	1.9% (606)	0.5% (160)	<b>1.4%</b> <b>(435)</b>	0.4% (47)	0.1%未満 (9)	<b>0.2%</b> <b>(25)</b>	1.5% (653)	0.4% (169)	<b>1.0%</b> <b>(460)</b>
9	パソコンやスマホ、携帯での嫌がらせ	0.3% (87)	0.1%未満 (26)	<b>0.2%</b> <b>(70)</b>	0.4% (47)	0.1%未満 (12)	<b>0.2%</b> <b>(29)</b>	0.3% (134)	0.1%未満 (38)	<b>0.2%</b> <b>(99)</b>
10	他のことでいじめられた	0.8% (238)	0.3% (94)	<b>0.6%</b> <b>(170)</b>	0.1% (17)	0.1%未満 (3)	<b>0.1%</b> <b>(15)</b>	0.6% (255)	0.2% (97)	<b>0.4%</b> <b>(185)</b>
主な内容例 ・誰だかわからないが並んでいる時に順番を抜かされた。友達に自宅までついてこられた。・やめてと言っても折り紙の刀を振り回してくる。友達がうるさくてどうしても気になってしまう。・走っているところを抜かされた時に「足おそ」と言われ、周囲の友達にも笑われた。・休み時間、上級生に道を塞がれた。友達が遊んでくれなかった。										
11	友達がいじめられているのを見た	7.1% (2,222)	2.1% (666)	<b>5.7%</b> <b>(1,767)</b>	1.4% (184)	0.1% (17)	<b>0.5%</b> <b>(70)</b>	5.5% (2,406)	1.5% (683)	<b>4.2%</b> <b>(1,837)</b>
12	今、いじめられている	1.3% (420)	0.3% (107)	<b>0.9%</b> <b>(278)</b>	0.6% (77)	0.1%未満 (12)	<b>0.2%</b> <b>(31)</b>	1.1% (497)	0.3% (119)	<b>0.7%</b> <b>(309)</b>

### 未回収数の内訳

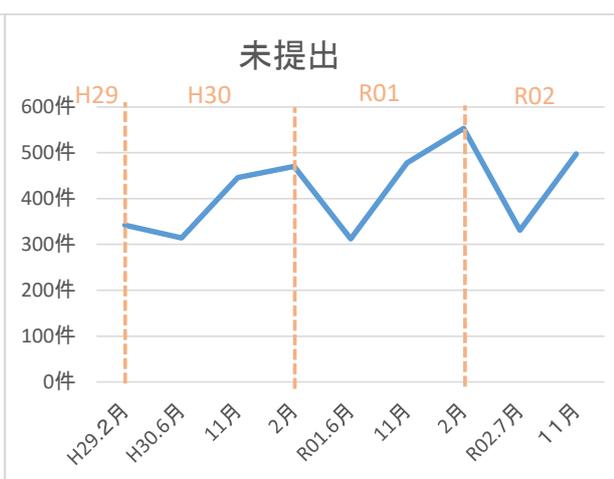
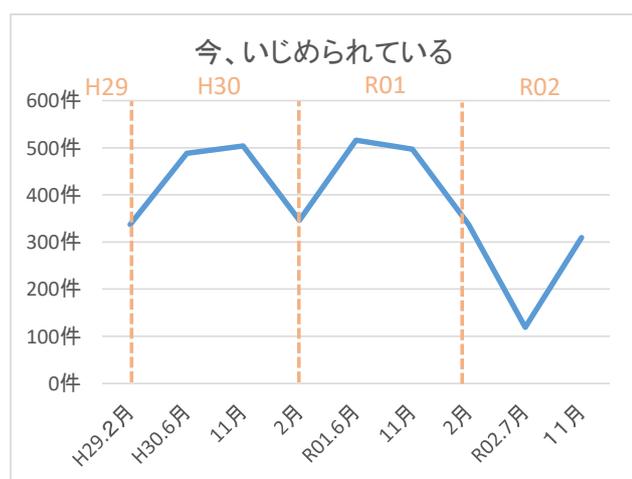
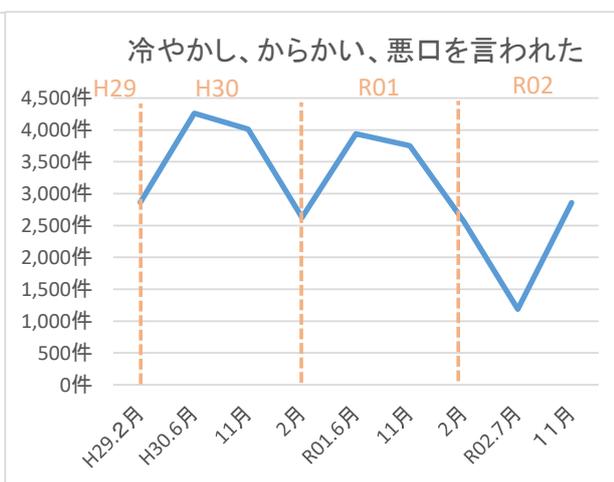
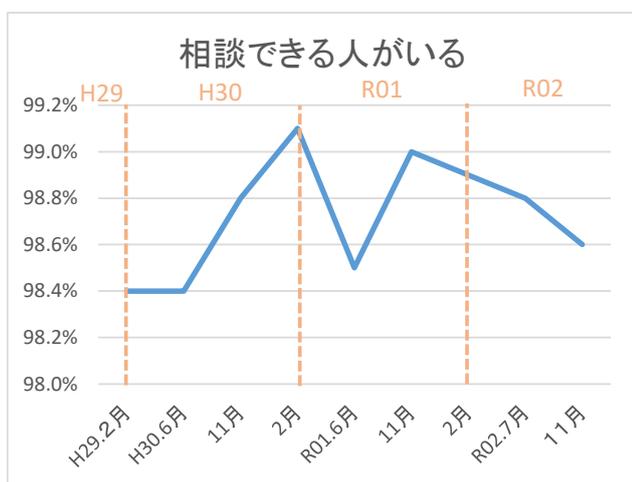
	小学校			中学校			合計		
	R01.11月	R02.7月	R02.11月	R01.11月	R02.7月	R02.11月	R01.11月	R02.7月	R02.11月
全員回収	28	24	<b>16</b>	2	7	<b>5</b>	30	31	<b>21</b>
1名	10	16	<b>14</b>	1	1	<b>2</b>	11	17	<b>16</b>
2名	9	9	<b>15</b>	0	3	<b>2</b>	9	12	<b>17</b>
5名以内	18	18	<b>16</b>	12	10	<b>5</b>	30	28	<b>21</b>
10名以内	4	2	<b>7</b>	8	6	<b>6</b>	12	8	<b>13</b>
11名以上	0	0	<b>1</b>	12	8	<b>15</b>	12	8	<b>16</b>
合計	69	69	<b>69</b>	35	35	<b>35</b>	104	104	<b>104</b>

### 未回収となった主な理由

	小学校			中学校			合計		
	R01.11月	R02.7月	R02.11月	R01.11月	R02.7月	R02.11月	R01.11月	R02.7月	R02.11月
学籍のみ	9	15	<b>13</b>	4	5	<b>7</b>	13	20	<b>20</b>
実施期間中に居住地以外に在住	9	19	<b>10</b>	1	3	<b>1</b>	10	22	<b>11</b>
児童相談所等との連携	1	6	<b>4</b>	4	4	<b>5</b>	5	10	<b>9</b>
不登校であり、回収に至らなかった	82	46	<b>97</b>	305	177	<b>292</b>	387	223	<b>389</b>
不登校気味で、日常的に本人・保護者との面会が困難	2	4	<b>5</b>	12	15	<b>17</b>	14	19	<b>22</b>
本人・保護者の判断	14	14	<b>17</b>	5	2	<b>5</b>	19	16	<b>22</b>
病気（入院中も含む）	8	9	<b>13</b>	12	8	<b>7</b>	20	17	<b>20</b>
日本語による読解が困難な状況	3	1	<b>1</b>	1	1	<b>0</b>	4	2	<b>1</b>
拒否	2	2	<b>2</b>	4	0	<b>1</b>	6	2	<b>3</b>
合計	130	116	<b>162</b>	348	215	<b>335</b>	478	331	<b>497</b>

## 令和2年度いじめに関するアンケート調査結果【抜粋】

<経年>	平成29年度	平成30年度			令和元年度			令和2年度	
	H29.2月	H30.6月	11月	2月	R01.6月	11月	2月	R02.7月	11月
相談できる人がいる	98.4%	98.4%	98.8%	99.1%	98.5%	99.0%	98.9%	98.8%	98.6%
冷やかし、からかい、悪口を言われた	2,864件	4,261件	4,010件	2,625件	3,937件	3,753件	2,563件	1,186件	2,857件
今、いじめられている	337件	488件	504件	346件	516件	497件	337件	119件	309件
未提出	342件	314件	446件	470件	312件	478件	553件	331件	497件



文教委員会報告資料

令和3年3月15日

件名	足立区ICT教育推進の基本方針の改定について
所管部課名	教育改革担当部 教育改革担当課 教育指導部 教育政策課
内容	<p>学校ICT整備方針の変更（「教員用端末整備の優先」⇒「児童・生徒一人一台の端末整備」）に基づき「足立区ICT教育推進の基本方針」を改定したので報告する（別添資料1参照）。</p> <p><b>1 目標の設定</b></p> <p>① 「基本的に身につけておきたい学力」の定着</p> <p>② 「自ら情報を収集・整理・分析して課題を見つけ、多様な他者と協力しながら課題を解決する力」の育成</p> <p><b>2 計画期間</b></p> <p>令和3年度から令和6年度まで</p> <p><b>3 施策の概要</b></p> <p>(1) 学力の定着</p> <p>① わかりやすい授業づくり ICTを組み込んだ足立スタンダードに基づく授業の展開</p> <p>② 児童・生徒の個に応じた指導 学習用ソフト等を活用した補習および先取り学習の実施</p> <p>(2) 課題を解決していく力の育成</p> <p>① 情報を活用した学びの推進 インターネットを活用した調べ学習の推進</p> <p>② 他者との協働による学びの推進 プレゼン機能等を活用した協働学習の推進</p> <p>(3) 場所を選ばない学びの実現（持ち帰りに必要な条件整備）</p> <p>① 児童・生徒の自覚やインターネットモラルの育成</p> <p>② 児童・生徒の目の健康の保持</p> <p>③ 家庭と学校との間におけるICTの活用</p> <p>④ 通信費負担に関する検討の継続</p>
問題点 今後の方針	各施策に設定されている指標の進捗評価は、外部有識者等で構成する足立区学校ICT活用促進協議会等で毎年行い、結果を公表すると共に適宜取り組み内容や指標の見直しを行っていく。

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和3年3月15日

件 名	校舎窓ガラスの強化に向けた取り組みについて
所 管 部 課 名	学校運営部 学校施設課 学校改築担当部 学校改築担当課
内 容	<p>区立小中学校の校舎窓に強化ガラスが設置されていない学校について、強化ガラスへの取り替えを計画しているので報告する。</p> <p><b>1 目的</b> 児童生徒とともに、避難所として活用される際の避難住民の安全性を確保するため、台風時の強風や地震時の揺れに備えた窓ガラスの強化を図る。</p> <p><b>2 実施期間</b> 令和3年度から令和5年度の3か年間</p> <p><b>3 対象校及び枚数</b> 74校 約5万5300枚</p> <p><b>4 令和3年度改修校及び枚数</b> 25校 約2万1300枚</p> <p><b>5 所要経費（予定額）</b> 全体工事費 6億800万円（概算） 令和3年度工事費 2億3416万8000円 （当初予算案計上額）</p>
問 題 点 今 後 の 方 針	強化ガラスへの取り替えを計画的に実施することで、学校施設の安全性を確保していく。

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和3年3月15日

件 名	防火シャッターへの危害防止装置の取り付けについて
所 管 部 課 名	学校運営部 学校施設課 学校改築担当部 学校改築担当課
内 容	<p>区立小中学校の校舎内に設置されている防火シャッターのうち、危害防止装置が設置されていない対象物について、安全装置の取り付けを計画しているので報告する。</p> <p><b>1 目的</b> 他自治体では過去に防火シャッターに挟まれ、児童生徒の命が奪われる事故が発生している。当区には同様の事故が懸念されるシャッターが60校で513台存在するため、計画的に改修を実施し、安全性を確保する。</p> <p><b>2 期間</b> 令和3年度から令和5年度の3か年間</p> <p><b>3 対象校及び台数</b> 60校 513台</p> <p><b>4 令和3年度改修数</b> 13校 112台</p> <p><b>5 所要経費（予定額）</b> 全体工事費 2億7100万円（概算） 令和3年度工事費 6080万円（当初予算案計上額）</p> <p><b>6 改修方法</b> 既存シャッター下部をカッターで切断 鋼製安全装置を既存シャッター下部にボルトで取り付け</p>
問 題 点 今 後 の 方 針	児童生徒の安全性の確保を重視し、速やかな改善に取り組み、学校施設の安全性を向上させていく。

# 文教委員会報告資料

令和3年3月15日

件名	足立区育英資金緊急対策（新型コロナウイルス感染症関連）の結果報告について
所管部課名	学校運営部学務課
内容	<p>足立区育英資金緊急対策（新型コロナウイルス感染症関連）として、令和2年度に実施した「返済猶予」「特別貸付」「免除条件付緊急貸付」について、募集期間が終了したので、以下のとおり結果を報告する。なお、実施概要については、P13のとおりである。</p> <p><b>1 新型コロナウイルス対策 返済猶予</b></p> <p>(1) 申請期間 令和2年5月18日～令和2年12月15日</p> <p>(2) 対象者数 450名（完済者及び弁護士対応を除く）</p> <p>(3) 申請者数 54名</p> <p>(4) 返済猶予者数 53名（申請者54名のうち1名が辞退）</p> <p>(5) 猶予率（返済猶予者数／対象者数） 11.77%</p> <p><b>2 新型コロナウイルス対策 特別貸付</b></p> <p>(1) 申請期間 令和2年5月18日～令和2年12月15日</p> <p>(2) 申請者数 21名</p> <p>(3) 貸付者数（内訳：公立 0件、私立 21件） 21名</p> <p><b>3 新型コロナウイルス対策 免除条件付緊急貸付</b></p> <p>(1) 申請期間 令和2年5月18日～令和2年6月30日</p> <p>(2) 対象者数（育英資金貸付継続者） 113名</p> <p>(3) 申請者数 110名</p> <p>(4) 貸付率 97.3%</p>

	<p><b>4 【拡充】新型コロナウイルス対策 免除条件付緊急貸付</b></p> <p>(1) 申請期間 令和2年10月21日～令和2年12月15日</p> <p>(2) 対象者数（特別貸付者） 21名</p> <p>(3) 申請者数 21名</p> <p>(4) 貸付率 100%</p>
<p>問 題 点 今後の方針</p>	

## 令和2年度 足立区育英資金緊急対策（新型コロナウイルス感染症関連）実施概要

### 1 返済猶予

- (1) 対象者 現在、育英資金を返済している社会人450名(長期滞納者等を除く)のうち、返済猶予を希望する者
- (2) 猶予期間 毎月15日(閉庁日の場合は直近の開庁日)までの受付分について  
当月分から令和3年5月分までを償還猶予  
※ 最大1年間猶予(令和2年6月分～令和3年5月分)
- (3) 返済再開 令和3年6月分から自動的に返済再開
- (4) 申請期間 令和2年5月18日～令和2年12月15日
- (5) 申請方法 学務課から対象者に申出書を郵送後、当該申出書を学務課へ郵送にて提出

### 2 特別貸付 (大学・短大生・専門学校生対象では23区初)

- (1) 対象者 大学・短大・専門学校の在校生100名
- (2) 対象期間 令和2年4月分～令和3年3月分の修学金  
令和3年度以降も貸付を希望した場合、一般の育英資金の条件を満たしていれば貸付を継続
- (3) 貸付金額 私立大学等54万円 国公立大学等42万円
- (4) 申請期間 令和2年5月18日～令和2年12月15日(100名先着順)
- (5) 申請方法 郵送または窓口にて申請書・在学証明書・連帯保証人2名の納税証明書を提出

### 3 免除条件付緊急貸付 (大学・短大生・専門学校生対象では23区初)

- (1) 対象者 ① 足立区育英資金を貸付中の大学・短大・専門学校の在校生113名のうち、追加貸付を希望する者  
② **【拡充】** 足立区育英資金特別貸付を貸付中の大学・短大・専門学校の在校生100名のうち、追加貸付を希望する者
- (2) 貸付金額 10万円を追加貸付
- (3) 償還免除 大学等を正規の修業年限で卒業すれば、10万円の追加貸付分を償還免除
- (4) 申請期間 ① 令和2年 5月18日～令和2年 6月30日  
② 令和2年10月21日～令和2年12月15日
- (5) 申請方法 学務課から対象者に申請書を郵送後、当該申請書を学務課へ郵送にて提出

文教委員会報告資料

令和3年3月15日

件名	多子世帯に対する学校給食費の補助について
所管部課名	学校運営部学務課
内容	<p>多子世帯の保護者の負担軽減を図るため、予算案の議決を得られた際には、以下のとおり学校給食費の補助を令和3年度から実施していく。</p> <p><b>1 概要</b></p> <p>(1) 第2子を半額補助、第3子以降を全額補助  (2) 保護者が学校に支払った学校給食費について、学校に対象児童・生徒の納付状況を確認  (3) 区から保護者へ、年2回に分けて補助金を支給</p> <p><b>2 対象者</b></p> <p>(1) 足立区立小・中学校に3人以上の児童・生徒が在籍する世帯  ※ 私立・都立・足立区外の区立学校への通学者は除く  (2) 足立区内に住所を有する世帯  (3) 生活保護や就学援助を受給していない世帯  (4) 前期・後期それぞれの対象給食費において、以下の基準日時点で滞納がない世帯  ア 前期（4～7月分の対象給食費）…8月1日時点  イ 後期（9～3月分の対象給食費）…3月1日時点</p> <p><b>3 対象人数（見込）等</b></p> <p>(1) 対象人数 合計2320人  ア 第2子 1100人  (小学校：900人、中学校：200人)  イ 第3子以降 1220人  (小学校：1200人、中学校：20人)  (2) 予算額 年間8873万5000円</p>
問題点 今後の方針	<p><b>【保護者への周知方法】</b></p> <p>(1) 足立区立小・中学校に3人以上在籍する世帯に本補助金の申請書を区から送付する際に、詳細を記載したチラシを同封  (2) 区ホームページ</p>

# 文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和3年3月15日

件 名	足立区学校施設の個別計画の策定について
所 管 部 課 名	学校改築担当部 学校改築担当課 学校運営部 学校施設課
内 容	<p>足立区立小学校・中学校における今後の改築・改修等の方針を個別計画として策定したので報告する（別添資料2）。</p> <p><b>1 策定の目的</b>                  学校施設の計画的な改築や大規模改修を行うための長寿命化の方針を定め、施設の改築・改修コストの平準化と縮減方法を検討し、その実施計画を策定する。                  本計画は、令和3年度以降の学校施設の改築・改修の実施にあたり、国の交付金導入の前提となるものである。</p> <p><b>2 計画期間</b>                  文部科学省から概ね10年以上の計画とすることが示されているため、計画期間を以下のとおり設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度から令和14年度まで（計画期間・12年間）</li> <li>・ 令和3年度から令和10年度まで（実施計画期間・8年間）</li> </ul> <p><b>3 対象施設数</b>                  小学校69校 中学校35校</p> <p><b>4 基本的な考え方</b>                  (1) 目標使用年数                  原則として82年とする。ただし、コンクリート躯体の圧縮強度試験の結果が13.5N/mm<sup>2</sup>以下の施設は65年とする。                  (2) 改修周期                  実施時期を単に築年数のみで決定するのではなく、今回の個別計画に基づき、20年周期を目安に予防保全的な大規模改修を実施する。</p> <p><b>5 実施計画</b>                  (1) 改築                  実施計画期間8年間において、改築設計に着手する学校数は8校</p>

(2) 大規模改修

実施計画期間8年間において、改修設計に着手する学校数は27校

**6 改築・大規模改修の費用**

今後の改築・改修コストの平準化と縮減に向けて、以下の条件をもとに今後8年間の想定費用を算出し、過去5年間の実績額との比較検討を行った。

(1) 改築（仮設校舎建設費用は含まず）

	想定床面積	m <sup>2</sup> 単価	改築費
小学校	8,000 m <sup>2</sup>	50万円	40億円
中学校	12,000 m <sup>2</sup>		60億円

- ・ 想定床面積は平成26年度以降に竣工した学校の面積をもとに、近年の教育環境の変化や災害時の避難所活用を考慮
- ・ m<sup>2</sup>単価は現在の施工単価の実績額を採用

(2) 大規模改修

	大規模改修費
小学校	9億円
中学校	

- ・ 平成26年度以降の維持費・保全費の実績額をもとに学習環境や生活環境の向上のための想定予算を加算して算定

**7 今後の改築・改修コスト**

今後8年間のコスト総額は612億4000万円となり、過去5年間の実績額と比較すると5分の4程度の額まで抑制できる結果となった。

ただし、実施計画期間以降も計画的な改築や大規模改修を実施する必要があるため、将来に向けた財源の確保が課題となる。

問題点  
今後の方針

本計画に基づき、区の諸課題に対応した総合的な観点から施設マネジメントの実践を目指す。  
区の上位計画と整合性を図りながら、関係課と連携して本計画の見直しを的確に行っていく。

# 文教委員会報告資料

令和3年3月15日

件名	ペアレント・メンター事業委託事業者選定委員会の審査結果について									
所管部課名	こども支援センターげんき支援管理課									
内容	<p>公募型プロポーザル方式によるペアレント・メンター事業委託事業者の選定結果について、次のとおり報告する。</p> <p><b>1 業務名</b> ペアレント・メンター事業委託</p> <p><b>2 業務概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達障がいのある子どもの対応に悩んでいる保護者（養育者含む）の相談支援を行う。</li> <li>・ 発達障がいのある子どもの育児経験を有する保護者をメンターとして育成する。</li> <li>・ 発達障がいのある子どもの保護者の孤立を防ぎ、発達障がい者への正しい理解を促進する。</li> </ul> <p><b>3 選定委員会（プレゼンテーション）開催日</b> 令和3年1月25日（月）</p> <p><b>4 選定委員</b> 5名（学識経験者1名、区民2名、区立小学校長代表1名、区職員1名）</p> <p><b>5 審査対象事業者</b> 2者（提案書提出事業者 2者）</p> <p><b>6 審査結果</b> <span style="float: right;">※ 詳細はP19参照</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">提案事業者</th> <th style="width: 30%;">得点 (満点1,575点) ※ 区内加算あり</th> <th style="width: 30%;">得点率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般社団法人ねっとワーキング</td> <td style="text-align: center;">1,367点</td> <td style="text-align: center;">87%</td> </tr> <tr> <td>第2順位事業者</td> <td style="text-align: center;">1,072点</td> <td style="text-align: center;">68%</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>7 提案書特定事業者</b> 一般社団法人ねっとワーキング (所在地：足立区青井3-7-17 2F)</p>	提案事業者	得点 (満点1,575点) ※ 区内加算あり	得点率	一般社団法人ねっとワーキング	1,367点	87%	第2順位事業者	1,072点	68%
提案事業者	得点 (満点1,575点) ※ 区内加算あり	得点率								
一般社団法人ねっとワーキング	1,367点	87%								
第2順位事業者	1,072点	68%								

	<p><b>8 提案書特定日</b> 令和3年2月1日（月）</p> <p><b>9 提案見積金額</b> 5,600,000円（消費税込）</p> <p><b>10 提案書特定事業者の主な特長</b>  (1) メンターの育成計画が具体的に提案された。  (2) 多様なニーズに応じる支援策を提案している。  (3) ライフステージを見据えた支援策が提案された。</p> <p><b>11 今後のスケジュール</b>  令和3年3月 契約締結  令和3年4月 事業開始  令和4年3月 事業終了  ※ ペアレント・メンター事業委託事業者評価委員会で事業評価を行い、2回まで契約延長可</p>
<p>今後の方針</p>	<p>事業の円滑な実施に向け、委託事業者と緊密に連携して準備を進める。</p>

# ペアレント・メンター事業委託 提案書特定結果

対象業務名				配点	業者名	
ペアレント・メンター事業委託					第一順位	第二順位
項番	評価項目				得点	得点
	分類	指標				
1	提案内容	メンターの募集方法等は適切か	メンターの募集(募集方法、募集計画、対象年齢層等)の適切性	100	95	68
2		メンターの養成研修の計画及び遂行体制は適切か	メンターの養成研修(養成研修の開始時期、実施計画、実施方法、カリキュラム、テキスト等)の適切性	100	85	85
3		コーディネーターの資質は適切か	コーディネーターの資質(資格、経験等)、メンターのスーパーバイズ、スキル評価の方法の適切性	150	109	109
4		相談事業の遂行体制及び実施手順は適切か	相談事業の遂行体制及び実施手順(相談事業の開始時期、メンターの人数及び分担、支援評価の方法、引継ぎの実施方法等、支援可能人数等)の適切性	150	134	89
5		業務の個人情報保護対策は適切か	個人情報保護対策の適切性	150	119	98
6		業務の危機管理体制は適切か	事故・クレームに対する対処方法の適切性	150	134	104
7		障がいをもつ保護者支援に関する事業の精通度	障がいをもつ保護者支援に関する事業の精通度	150	134	101
8		業務に必要な経験・ノウハウを有しているか	当該事業に活用できるアピールポイント(傾聴等この事業を実施するにあたり必要とする知識、技能。同種・類似の業務実績等)	150	134	126
9		地域との連携体制は妥当か	関係機関との連携方法の具体性	100	90	75
10		効果が期待できる独自の提案がなされているか	本事業を必要とする支援対象者への効果的な周知及び利用者増につながる効果が期待できる独自の提案	200	160	150
11	コスト	コストは妥当か	提案見積価格	50	50	26
12	プレゼンテーション	プレゼンテーションを総合的に見た評価	プレゼンにおける説明能力や業務への意欲、論理性、態度、資料の正確性等	50	48	41
<b>合計</b>				1,500	<b>1,292</b>	<b>1,072</b>

項番	評価項目			得点	得点	
	分類	説明	評価基準(得点)			
1	区内業者	区内に本店がある場合	合計点に15点を加点	75	75	0
2	区内業者	区内に支店がある場合	合計点に10点を加点	50	0	0
<b>総計</b>					<b>1,367</b>	<b>1,072</b>

順位				1	2

文教委員会報告資料

令和3年3月15日

件名	令和3年度のチャレンジ学級の運営方法について																																																																						
所管部課名	こども支援センターげんき教育相談課																																																																						
内容	<p>令和3年度から、チャレンジ学級の運営方法の一部を変更する。</p> <p><b>1 小学生専用教室の設置</b></p> <p>【現 状】小学生も中学生と同室での学習活動をしている。 ↓ 【令和3年度から】小学生専用の教室を設置する。</p> <p>チャレンジ学級正式通級の児童・生徒数(R2年度は12月末現在)</p> <table border="1" data-bbox="470 869 1374 1216"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小3</th> <th>小4</th> <th>小5</th> <th>小6</th> <th>小学生計</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> <th>中学生計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>26</td> <td>44</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>18</td> <td>53</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>22</td> <td>41</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1<sup>※1</sup></td> <td>0</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>37</td> <td>63</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>19</td> <td>39</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>(※2)</td> <td>(2)</td> <td>(2)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(16)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 R1年の小3欄は小2の数(小3は0人) ※2 チャレンジ学級体験生(正式通級前の児童)</p> <p><b>2 中学生の制服について</b></p> <p>【現 状】原則、在籍校の校則に準じて制服で通級している。 ↓ 【令和3年度から】制服の問題で通級できない生徒の通級が可能となるよう、制服以外(一定の基準は設ける)の通級も可能とする。また、学校の環境に近い形の「あすテップ」と区別する。</p>	年度	小3	小4	小5	小6	小学生計	中1	中2	中3	中学生計	H28	1	0	1	5	7	4	26	44	74	H29	0	1	0	2	3	12	18	53	83	H30	1	1	3	2	7	8	22	41	71	R1	1 <sup>※1</sup>	0	2	7	10	13	37	63	113	R2	0	1	1	4	6	9	19	39	67	(※2)	(2)	(2)	(6)	(6)	(16)				
年度	小3	小4	小5	小6	小学生計	中1	中2	中3	中学生計																																																														
H28	1	0	1	5	7	4	26	44	74																																																														
H29	0	1	0	2	3	12	18	53	83																																																														
H30	1	1	3	2	7	8	22	41	71																																																														
R1	1 <sup>※1</sup>	0	2	7	10	13	37	63	113																																																														
R2	0	1	1	4	6	9	19	39	67																																																														
(※2)	(2)	(2)	(6)	(6)	(16)																																																																		
問題点 今後の方針	小学生専用教室については、4月より西新井教室にて対応を開始する。																																																																						

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和3年3月15日

件 名	特例課程教室あすテップの検証会議の結果について												
所 管 部 課 名	こども支援センターげんき教育相談課												
内 容	<p>特例課程教室あすテップは、不登校特例校の類似の支援教室として開設したが、支援の効果等を検証することになっている。開設初年度の検証会議を実施したので報告する。</p> <p><b>1 実施日時</b> 令和3年1月27日（水） 9：45～11：00</p> <p><b>2 参加者</b> 文部科学省 児童生徒課課長補佐 廣石 孝 東京都 主任指導主事（不登校担当）勝山 朗 足立区 教育長、子ども家庭部長、こども支援センターげんき所長、教育改革担当部長、教育指導部長、教育指導課長、支援管理課長、教育相談課長 他</p> <p><b>3 内容、主な意見</b> (1) あすテップの現状 ※ 1月末現在</p> <table border="1" data-bbox="520 1249 1262 1406"> <thead> <tr> <th></th> <th>正式通級</th> <th>体験通級</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あすテップなでしこ</td> <td>8人</td> <td>3人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>〃 はなほ</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) あすテップ生徒（16人）、保護者（16人）へのアンケート結果（P22～23参照）</p> <p>(3) アンケートを踏まえた分析</p> <p>ア 生徒は在籍校に戻りたくない（75％）と考えている一方、保護者は学校復帰に対する希望（50％）も持ち合わせている。転校する必要がある不登校特例校への移行は、今回の調査だけでは判断できない。</p> <p>イ 学習の定着状況の把握が必要。</p> <p>ウ チャレンジ学級より通級率（定着率）が高い。あすテップの目的は一定程度達していると考ええる。</p> <p>エ 生徒、保護者ともに「行動」が変化したと回答している。あすテップは9時から9時30分の間に通級するよう指導しており、生活リズムが改善している。</p>		正式通級	体験通級	計	あすテップなでしこ	8人	3人	11人	〃 はなほ	6人	2人	8人
	正式通級	体験通級	計										
あすテップなでしこ	8人	3人	11人										
〃 はなほ	6人	2人	8人										

#### 4 文部科学省、東京都の意見

##### (1) 文部科学省

ア あすテップ設置校（第十中、花保中）の生徒も通級していると聞いており、校内の別室としての指導方法や教員との関わり等も検証してほしい。

イ 様々な自治体で、不登校支援におけるICT活用が活発に議論されている。福岡市など先進自治体の取り組みを参考にしたり、あすテップなどの学校外でのICT学習を評価する仕組みをぜひ検討してほしい。

ウ 今後の取組状況や検証結果についても、引き続き意見交換を続けていきたい。

##### (2) 東京都

ア あすテップでは、定期的に通級できる生徒もいるが、不登校生徒の中には、校内に入れない生徒や自宅から外出できない生徒もいる。個々に状態に応じた多様な居場所が必要である。

イ 不登校児童・生徒の自宅へのアウトリーチ支援も必要だと考えており、東京都としても補助金のメニューを用意しているので活用してほしい。

#### 5 今後の方針

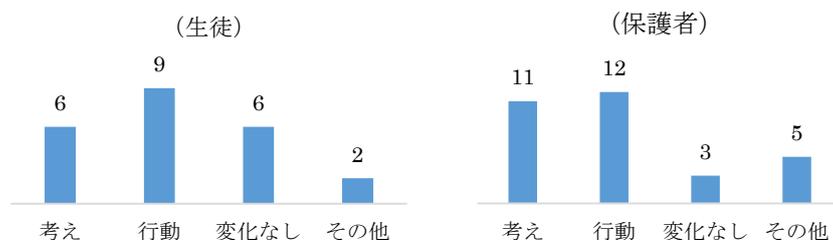
(1) チャレンジ学級との進学先の比較や学校復帰率等の分析を、今年度末以降に実施する。

(2) 学力定着状況について保護者アンケート等で確認する。

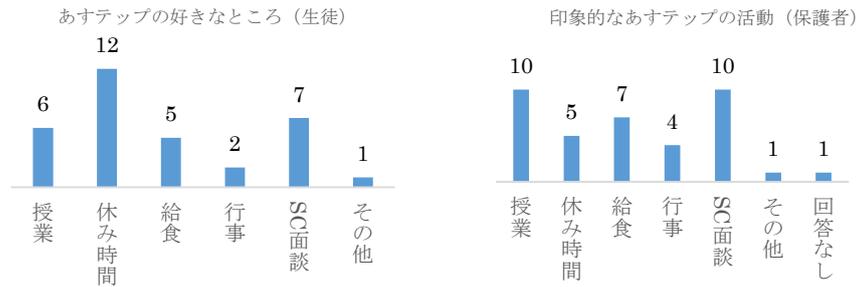
(3) 生徒の個別学習計画を策定し、苦手分野を集中的に支援するなど計画性を持った指導を実践する。

##### ■ (参考) アンケートの主な集計結果 ※ 単位人数

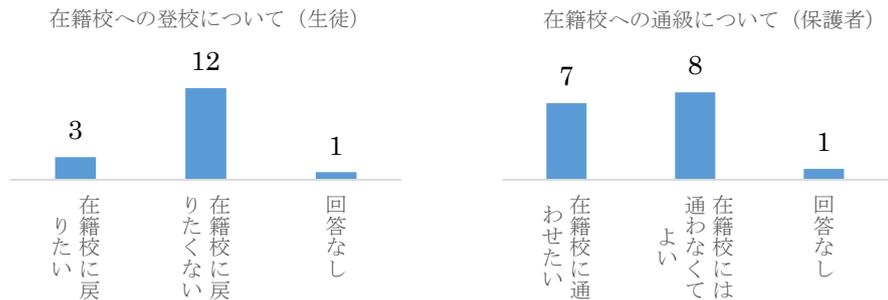
##### 1 あすテップに通級して変化したこと (複数回答)



## 2 あすテップの活動について（複数回答）



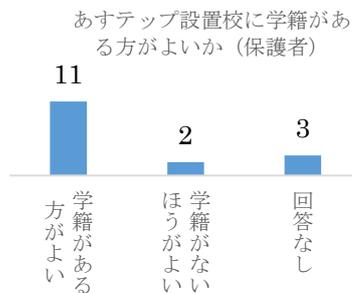
## 3 在籍校への登校について



## 4 通級率の比較

	週 5 日通級率	週 3 日通級率
あすテップ	44%	31%
チャレンジ学級	20%	29%

## 5 学籍について



### 学籍についての自由意見

- ・ 書面等、〇〇中学校と記入しやすい（あるほうがよい）
- ・ 在籍校に戻る気持ちが薄れてしまう気がする（ないほうがよい）
- ・ 不登校になるより楽しく過ごせるならどこでも良い。

## 6 その他意見

- ・ みんなと遊んだりできるし、勉強もわかりやすい【生徒】
- ・ 今後も、安心できる学びの場の継続を願っている【保護者】
- ・ あすテップは公立中学とフリースクールのちょうど真ん中に位置しており、親子で安心して参加できる学習環境だと思ふ。欲を言えば音楽活動も充実されるとよい【保護者】
- ・ 集団生活が苦手な部分が大きかったので、少人数で過ごせるところがよい。学校に近いカリキュラムなので、本来の生活リズムが崩れにくい【保護者】

問題点  
今後の方針

次回の検証は令和3年11月頃に実施予定

文教委員会報告資料

令和3年3月15日

件名	不登校児童のための家庭学習支援事業委託事業者選定委員会の審査結果について									
所管部課名	こども支援センターげんき教育相談課									
内容	<p>公募型プロポーザル方式による不登校児童のための家庭学習支援事業委託事業者の選定結果について、次のとおり報告する。</p> <p><b>1 業務名</b> 不登校児童のための家庭学習支援事業委託</p> <p><b>2 業務概要</b> 教育相談課の不登校対策会議にて、外出困難な子どもたちの中から家庭学習支援事業の対象者として決定した児童に対し、今回特定した事業者が、自宅への家庭教師の派遣や ICT を活用したオンライン授業を行う。</p> <p><b>3 選定委員会（プレゼンテーション）開催日</b> 令和3年2月1日（月）</p> <p><b>4 選定委員</b> 5名（学識経験者2名、区民1名、小学校長代表1名、区職員1名）</p> <p><b>5 審査対象事業者</b> 2者（提案書提出事業者 2者）</p> <p><b>6 審査結果</b> ※ 詳細はP26参照</p> <table border="1" data-bbox="528 1532 1329 1733"> <thead> <tr> <th data-bbox="533 1538 834 1632">提案事業者</th> <th data-bbox="839 1538 1174 1632">得点（満点500点） ※ 区内加算あり</th> <th data-bbox="1179 1538 1324 1632">得点率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="533 1639 834 1684">株式会社キズキ</td> <td data-bbox="839 1639 1174 1684">427点</td> <td data-bbox="1179 1639 1324 1684">85%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="533 1691 834 1736">第2順位事業者</td> <td data-bbox="839 1691 1174 1736">285点</td> <td data-bbox="1179 1691 1324 1736">57%</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>7 提案書特定事業者</b> 株式会社キズキ （所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-7-202）</p> <p><b>8 提案書特定日</b> 令和3年2月2日（火）</p>	提案事業者	得点（満点500点） ※ 区内加算あり	得点率	株式会社キズキ	427点	85%	第2順位事業者	285点	57%
提案事業者	得点（満点500点） ※ 区内加算あり	得点率								
株式会社キズキ	427点	85%								
第2順位事業者	285点	57%								

	<p><b>9 提案見積金額</b> 10,950,984円（消費税込）</p> <p><b>10 提案書特定事業者の主な特長</b>  (1) 学習支援だけではなく、家庭支援も含めた提案であり、特に対面での支援を重視していた。  (2) 学校との連携を重視した提案であった。  (3) 講師の人材確保では、不登校支援に特化した採用基準を定めるなど事業の趣旨に応じた提案であった。</p> <p><b>11 今後のスケジュール</b>  令和3年3月                    契約締結  令和3年4月～5月           対象者の選定  令和3年6月                   事業開始  令和4年3月                   事業終了  ※ 不登校児童のための家庭学習支援事業委託事業者評価委員会で事業評価を行い、2回まで契約延長可</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>事業の円滑な実施に向け、委託事業者と緊密に連携して準備を進める。</p>

## 不登校児童のための家庭学習支援事業 提案書特定結果

対象業務名		評価項目	配点	業者名		
不登校児童のための家庭学習支援事業				第一順位	第二順位	
項番	分類			得点	得点	
1	業務の理解度	課題の把握や業務の理解度は十分か	不登校児童に対する考え方、支援の具体的な視点	50	45	29
2	提案内容の的確性	業務実施手順や方法は妥当か	支援の手順、実施フローの妥当性	50	43	26
3	コスト	コストは妥当か	提案見積価格	50	25	25
4	特定テーマに対する取組姿勢	取組姿勢の明確性 付随・関連業務への適切な対応度	児童に寄り添い、家庭、学校、行政、その他関係者をつなぐコーディネートを含めた事業展開ができるか 教育委員会との連携 ICTを使った学習支援事業を行えるか	75	66	40
5	子どもへの支援についての基本的考え方・基本的方法	支援方法の具体性、的確さ	子どもに寄り添う姿勢の有無、支援方法の具体性	75	71	44
6	保護者との関りについての基本的考え方・基本的方法	保護者の心情への配慮、接し方の具体性	保護者と接する際の方針の具体性、保護者との接触頻度	50	46	29
7	支援者の採用・養成の方針や方法	組織の理念や支援者育成方針の明確さ、育成方法の具体性	組織の理念、支援者の育成の的確さ、研修方法の具体性	75	66	44
8	学校との連携に関する方針や方法	連携の目的や相手方についての具体性	学校との連携方針の具体性、的確さ	50	43	29
9	子どもの安全・人権・個人情報への配慮	支援者の資格等の有無、配慮の具体性	子どもの安全・人権・個人情報への配慮についての指導	25	22	19
合 計				500	427	285

項番	評価項目		加点	得点	得点	
	分類	説明				評価基準(得点)
1	区内業者	区内に本店がある場合	合計点に5点を加点	25	0	0
2	区内業者	区内に支店がある場合	合計点に3点を加点	15	0	0
総 計					427	285

順 位	1	2

文教委員会報告資料

令和3年3月15日

件名	不登校支援におけるICT活用実施計画の策定について
所管部課名	こども支援センターげんき教育相談課
内容	<p>「ICT教育推進の基本方針」における個別分野の一つとして、ICTの活用が必要とされる不登校児童・生徒の学びの支援を行うための実施計画を、別冊として作成したので報告する（別添資料3参照）。</p> <p><b>1 めざすべき将来像</b> ICTの活用を通じて、全ての不登校の児童・生徒に出席扱いとなるような学習や相談の機会を提供する。</p> <p><b>2 計画期間</b> 令和3年度から令和6年度まで</p> <p><b>3 支援・施策の概要</b></p> <p>(1) 学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅からの授業参加（オンライン授業）</li> <li>・ 別室登校支援に対するICTの活用</li> <li>・ チャレンジ学級等でのICT学習支援</li> <li>・ 自宅での自主学習支援（ICTアプリ活用）</li> </ul> <p>(2) 相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校におけるICTを活用した教育相談</li> <li>・ 学校以外の場でのICTを活用した教育相談</li> </ul> <p>(3) 学習評価の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校以外の場での学習活動を評価</li> </ul> <p><b>4 進行管理</b> 足立区学校ICT活用促進協議会で事業の進捗を管理する。</p>
問題点 今後の方針	<p>チャレンジ学級相互のオンライン授業など、実現可能な施策から順次着手していく。特に、学校における授業のオンライン配信については、校長会、学校、関係各課と協議を進めながら対応する。</p>